



## えほんの国

絵本のおもしろさを知り、本を手取る習慣を身につけてもらうため、小方小学校で定期的にお話し会を開催しています。また、なかはま保育所での絵本の読み聞かせや、毎年12月には市立図書館でクリスマス会での話し会を開催しています。

### 成果

メンバーで、毎週火曜日にブラックシアターや影絵などを制作しています。制作するときには、1つ1つのお話を深く掘り下げ、子どもたち自身の心が動く作品づくりを心がけています。そして、作品と出会う話し会を通して、子どもたちの知識と想像力、夢見る心や好奇心を育てるお手伝いをしています。



## 親と子の本の広場あいく館

南栄3丁目の旧愛育園（幼稚園）で、毎週土曜日に開館しています。2,500冊以上の絵本やおもちゃなどが常設されています。絵本の読み語りだけでなく、貸し出しや工作などを行っています。また、親子で楽しめる行事の開催や、子育て情報の提供などの子育て支援活動を行っています。

### 成果

年間延べ約1,000人の親子が訪れ、親子のふれあいとお母さん方の情報交換の場となっています。小学校低学年や中学年の児童も訪れて、絵本やおもちゃで遊ぶなど、楽しい遊びの場にもなっています。

※ 毎月の行事は、広報おたけでお知らせしています。（今回はP.23）



## 心肺蘇生を広める会@大竹

尊い命を救うことができる市民を増やすため、市民を対象とした無料救急救命講習会（心肺蘇生法および自動体外式除細動器（AED）の使用方法など）や、市民インストラクターの養成講座を開催しています。

### 成果

多くの市民が来場する市内のイベント会場で、救命方法の知識を習得するための講習会を、平成20年4月以来47回開催し、1,772人が受講しています。



## 松ヶ原町振興協議会

休耕田を借りて松ヶ原こども館の子どもたちに田植えや稲刈りを体験させたり、地元農産物を直販する「わくわくファーム松ヶ原」を開所して、地元農家に対する農業へのやりがいを高めたりと、地域の活性化を図っています。

### 成果

松ヶ原こども館と連携した農業体験により、参加した親子と地域との交流が図られています。また、わくわくファームの運営により、高齢化した地元生産者の生きがい対策に加え、市域内外の人々との交流の場となっています。

# がんばる団体を応援 市民活DO! 支援事業

問い合わせ 地域振興課 ☎2132

大竹市をよりよく、住みやすいまちにしようとして、子育て支援やまちづくりなど、自主的に社会貢献活動をしている市民活動団体がたくさんあります。今回は、市民活動支援事業の助成を受けた団体を紹介します。



松ヶ原こども館利用者親子での稲刈り体験（松ヶ原町振興協議会）





## NPO法人 えこらいふ大竹

市のゴミ減量化・ゴミ処理費の削減に取り組むことを目的に、家庭の生ゴミの減量方法の講座の開催や、「ダンボールコンポスト」による家庭の生ゴミ堆肥化の普及活動を行っています。

### 成果

公民館などで講座を受講した人は、ゴミ問題への関心を深め、ダンボールコンポストを実践する人が増えています。また、小学校の環境教育として4年生を対象に出前講座を行っており、児童が家庭から持ち寄った生ゴミで作った堆肥を使い、学校農園で野菜を育てています。育てた野菜は、給食の食材として使用しています。

## 一緒に大竹のまちを作っていきましょう

以前は他の活動をしていたのですが、ある時ごみ問題を考えるグループの存在を知り、一緒に「大竹ごみ減量グループ」を発足させました。それからは、ダンボールコンポストを利用して生ごみから堆肥を作り、ごみを減らすことを目的とした団体として活動してきました。そして昨年4月には、市内3つ目のNPO法人として、認可を受けることができました。

平成20年度に市民活動支援事業の助成を受け、小方小学校の畑を借りて、作った堆肥で農作業ができる環境を整えました。現在は市内3つの小学校の総合学習で堆肥から野菜作りまでを指導し、収穫した野菜を給食に取り入れてもらっています。

これからいろんな活動を始めようと考えている方は、ぜひ市民活動支援事業の助成を活用してほしいと思います。また、仲間を集めるのは難しいと思われがちですが、地道に活動していれば、少数でも必ず参加してくれる人がいるものです。一緒に大竹のまちを作っていきましょう。



中川 雅夫さん  
(NPO法人 えこらいふ大竹代表)

## 平成24年度 市民活動支援事業

問い合わせ 地域振興課 ☎2132

紹介した市民活動団体からは、「この助成金を使って「団体としての活動に踏み切ることができた」、「活動内容を充実させることができた」という声を聞いています。これから市民活動をしたと考えている方は、ぜひ相談してください。

今年度も市民活動団体が地域の課題を解決するために提案・実施する事業を募集し、助成金を交付します。

**対象団体** 市内の5人以上で活動する非営利活動団体で、代表者と会則などを定めている団体。

**対象事業** 自主的・主体的に実施する市民対象の非営利事業で、平成25年3月までに実施できるもの。

**申し込み** 申請書に事業計画書など必要書類を添付して、5月28日(月)までに地域振興課へ。申請書などの様式は、市ホームページからダウンロードするか、地域振興課に備え付けのものを使用してください。希望により郵送もします。

### 選考方法

選考は、提出書類による審査です。応募状況により第2次審査を実施します。第2次審査実施の場合は、別途申請団体にお知らせします。

### 助成金の交付条件

助成金の種類	スタート支援助成金	ステップアップ支援助成金
活動歴の別	4月1日現在における活動歴が3年未満の団体	4月1日現在における活動歴が3年以上の団体
対象事業	従来事業(団体本来の事業)	新規事業のみ(ただし従来事業であっても新しい課題を掲げて取り組むものは可)
助成内容	活動歴が3年に達する年度までを限度に最大3回まで交付可	1事業につき1回交付
上限額	5万円/1回	10万円
備考	ほかの助成金と重複して受けることはできません。	

募集



## おはなしサークルにじいろのたね

子どもへの絵本の読み聞かせを行うため、市立図書館などで乳幼児と保護者を対象にしたお話し会や、保育所、小学校でのお話し会を毎月開催しています。また、市民に読み聞かせの活動に関心を持ってもらうため、講習会の開催や、市が行う4カ月乳児健診で絵本の効用などを話す「えほんでハートフル」に協力しています。

### 成果

毎回多くの親子が参加し、絵本の読み聞かせの後も、歌遊びなどで楽しいひとときを過ごします。どのお母さんも来た時よりも表情がやさしくなり、大切な時間になっています。



## 一丁目フラワー通りグループ

玖波駅前を季節の花で飾ることを目的に、駅からコミュニティサロン玖波、恵川までを結ぶ市道玖波33号線の道路沿いに、地区の住民や玖波小学校の児童たちが花を植えています。

### 成果

この道は、通勤・通学者や病院見舞客など、多くの人が行き交っており、通行者の心を癒すとともに、地域のコミュニティの増進につながっています。



## 安芸大瀧太鼓むすび衆

伝統ある大竹祭に新たな魅力を加え、大竹の町を元気にするため、和太鼓と篠笛の演奏メンバーを結成しました。祭り行列の役を担っています。また、大竹駅前商店街の土曜夜市にも参加し、練習の成果を発表しています。

### 成果

本番を重ねるごとにメンバーの自信も高まり、郷土の祭りをさらに盛り上げたいとの意気込みも強まっています。メンバーには小学生など少年もおり、ふるさと大竹を愛する心を育てていきたいと思えます。



## 三ツ石を明るく住みよくする会

人口が減少している三ツ石地区をもっと明るく住みやすい町にするため、地域住民に呼びかけて、三ツ石中央公園に季節の花を植えています。また、川でホタルが観察できることを目指して、毎年幼虫を放流して育てています。

### 成果

地区住民がスポーツやゲートボールなどを行っている中央公園がきれいになり、住民の憩いの場所となっています。また、住民同士が花植えの作業をすることで、地域のコミュニティも図られています。